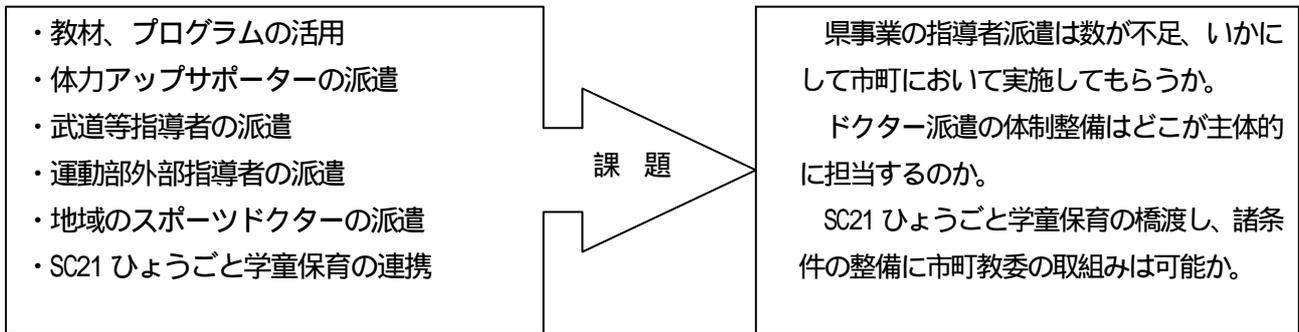
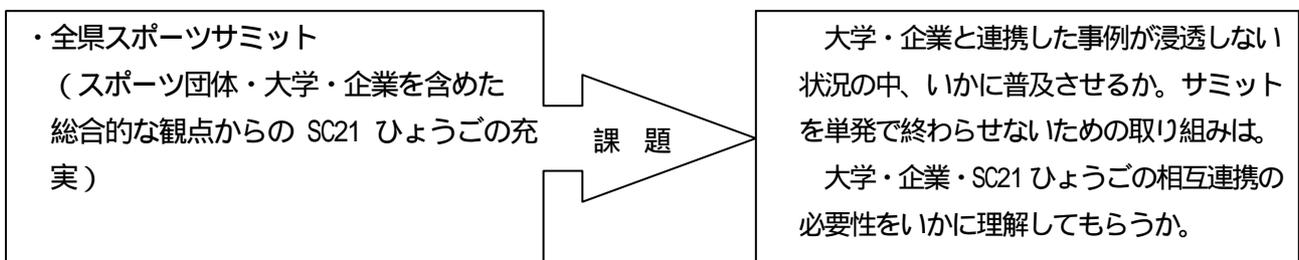


# 「連携・協働」に関する主な取組と課題

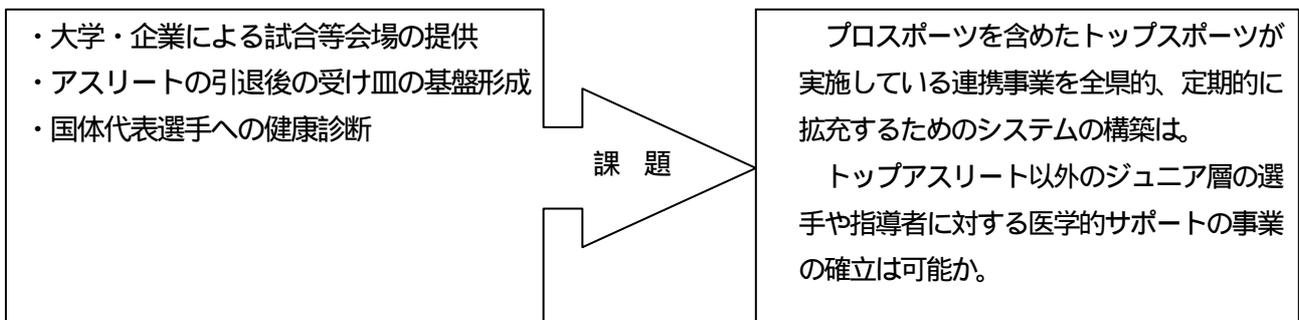
## 重点目標1「スポーツをする子どもの増加と体力の向上」 外部指導者(企業、大学、SC21ひょうご)の活用



## 重点目標2「成人のスポーツ実施者の増加」 SC21 ひょうごが企業・大学の施設、講座、指導者等を活用



## 重点目標3「競技力レベルの向上」 トップスポーツ、医療機関との連携(施設開放、交流等)促進



重点目標4「障害のある人のスポーツ参加者の増加」 ( )

- ・指導者講習会等の充実を図り、指導者の確保と地域での取組の拡大を支援
- ・関係機関等との連携により、多様なスポーツ活動への参加機会を拡大
- ・特別支援学校、障害者スポーツ団体等との連携によるスポーツ参加の場の確保
- ・県立障害者スポーツ交流館等の拠点施設と連携を図り、スポーツ教室等の企画等を支援
- ・プロスポーツやチーム等の参画を得て、トップアスリートとの交流や練習会等の確保
- ・障害者スポーツ大会等への企業・学生ボランティアの参画を推進
- ・障害のある人とない人が同じ場所でスポーツを行うための方法や施設の在り方につき大学等との共同研究

課 題

指導者講習会の修了者に対して、指導者協議会への登録で終わらない継続的な指導者フォローと活躍の場の提供が必要。

**機能的・継続的な指導者バンクの構築の具体的方法とは。**

障害者スポーツとSC21の連携のため、相互アプローチが必要。まずは県の教育委員会と障害部局の連携が必要。

**障害者スポーツとSC21の連携のための県教委と障害部局の具体的協働事業の立案とは。**

既存のスポーツ大会だけではなく、トーチラン等新たなイベントの充実（財源の課題あり）。

**財源確保の充実**

障害者スポーツ参加者を増やすため、障害者スポーツの各種大会を積極的に誘致する等の取組を進める。

**各種大会招致の具体的方法は。**

サッカー、バレーボール以外の競技種目についてプロチームとの連携を模索。

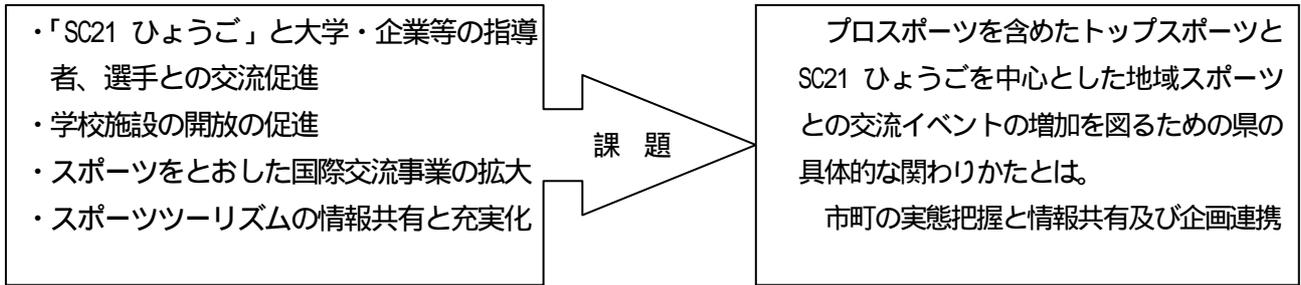
**プロスポーツとの連携構築の具体的な方法とは。**

大学の講義カリキュラムと連携したボランティア育成を検討（兵庫教育大学での取組を他大学へも拡大）。

**大学との連携を促進するための具体的方法は何か**

研究のための委員会の設置や、適任者を選定する必要あり。

重点目標5 「手軽に参加できるスポーツ環境の整備」 「SC21 ひょうご」を中心とした連携・協働の拡大



スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出

### **(1) トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出**

#### **1) トップアスリート等が地域スポーツの場で活躍できる体制の整備**

地域のシンボルスポーツを掲げて、トップアスリート等による地域のジュニアアスリートの育成・強化等に積極的に取り組む

#### **2) 「小学校体育活動コーディネーター(仮称)」の配置**

小学校で担任とチームティーチングで体育の授業に取り組んだりするとともに、総合型クラブ等地域との連携を図るため、これらを中心となって行う教員等配置する。

#### **3) 体育授業・運動部活動における外部指導者の充実**

地域のスポーツクラブや関係団体等と連携し、地域のスポーツ指導者を外部指導者として学校に受け入れることを推進する。(再掲)

#### **4) ジュニア期からの戦略的支援の強化**

ジュニアアスリートの発掘(タレント発掘)を推進し、ジュニア期からのアスリート育成のための中・長期的な強化・育成戦略の実施を支援する。

#### **5) ジュニア期から引退後までのキャリア形成支援と社会貢献の推進**

引退後のトップアスリートやジュニアアスリートに対するキャリアデザインの重要性等についての啓発活動、大学院の機能を活用したキャリア形成のためのプログラム開発等の支援

#### **6) スポーツキャリア形成支援のためのワンストップサービスの実現**

a) 引退後の奨学金等による支援、b) トップアスリートへのキャリア形成支援、c) トップアスリートの企業・総合型クラブ、学校等への紹介・斡旋などを一体的に実施するスポーツキャリア形成支援のためのワンストップサービスを実現する。

### **(2) スポーツ界の連携・協働の促進**

#### **1) 大学を活用した分散型強化・研究活動拠点ネットワークの構築**

競技力向上の取組のみならず、大学による総合型クラブの運営や地元のジュニア育成活動などの地域貢献活動も支援する。

#### **2) 国立スポーツ科学センター(JISS)の機能強化**

NAASHに、外部有識者等からなる委員会を設け、国際戦略等の必要な機能強化について検討する。

#### **3) 学校体育施設の有効活用の推進**

学校体育施設の更衣室を備えたクラブハウスや温水シャワー等必要な施設設備の整備を支援する。また、休・廃校となった学校体育施設を有効活用

#### **4) スポーツ団体の連携体制の構築**

トップスポーツと地域スポーツの好循環を創出するため、日体協、JOC、日レク協、NF及び都道府県・市区町村のスポーツ団体等における具体的な連携のための方策と支援の在り方について検討する。

#### 5)スポーツに関する国際交流・協力の推進

スポーツを通じた国際的な相互交流を推進するため、ジュニア世代の競技会や市民レベルのスポーツ大会等への派遣・受入れを行う。